

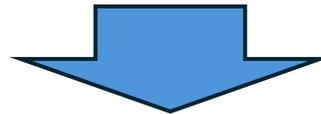
会期終盤に向けた取組

令和 7 年 9 月 10 日

会期終盤に向けた取組

会期終盤の留意事項

- 万博の会期終盤は、万博来場者が増加する見込み
- 万博小型車両（P&R駐車場の利用など）も増加傾向
- 9月から万博閉幕までは団体バスの増加も想定



会期終盤に向けた取組

- 会期4カ月間(4/13～8/24)の道路交通は交通容量内に留まり混雑は発生しなかったが、引き続きモニタリング・分析により、道路交通の状況を注視
- 会期終盤の道路交通の増加を見越して、これまで準備してきた対策を着実に実施するとともに、「ターミナルゲートの時間延長」の対策について、予め期間を決めて実施
- 万博閉幕まで引き続き博覧会協会と連携し、円滑な万博来場者輸送に努めるとともに、関係局が連携して、追加的対策の準備・調整を実施し、最大限の効果を発揮

追加的対策の手法

来場者の円滑な輸送を確保するとともに、市民生活や経済活動への影響を最小限に留めることを念頭に、日々の交通状況のモニタリングを行いながら、機動的に万博開催期間中の追加的対策を実施

- ◆ **追加的対策A**：各事業の工夫により、交通量の状況に関わらず、予め期間を決めて実施する対策
- ◆ **追加的対策B**：日々の交通状況のモニタリングを行いながら、交通容量を超過する見込みとなった場合に、機動的に実施する対策

<追加的対策の手法>

1) 追加的対策A

対象車両	対策メニュー	内容	効果	実施期間
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やす	IR工事車両台数を削減	開幕・GW・お盆・閉幕付近
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	ごみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制	12～36台/hの削減	全期間
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	万博来場者及びコンテナ車両が多く見込まれる期間について、時間外(早朝及び昼休み)にゲートオープンを実施	物流車両の来場台数を平準化	開幕・GW前後・閉幕付近

※ターミナルゲートの時間延長は、開幕・GW前後・閉幕付近において、予め期間を決めて実施

2) 追加的対策B

対象	対策メニュー	内容	効果
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	時間外(早朝及び昼休み)にゲートオープンを実施	物流車両の来場台数を平準化
	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更	150台/日削減を想定
IR工事車両	通行ルート・時間帯の変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯を変更	IR工事車両台数を削減
一般交通	働きかけTDM※	・更なる協力のお願いについてTDMパートナー企業等にメルマガ配信や情報提供 ・追加的な情報を府市のHP等に掲載	抑制

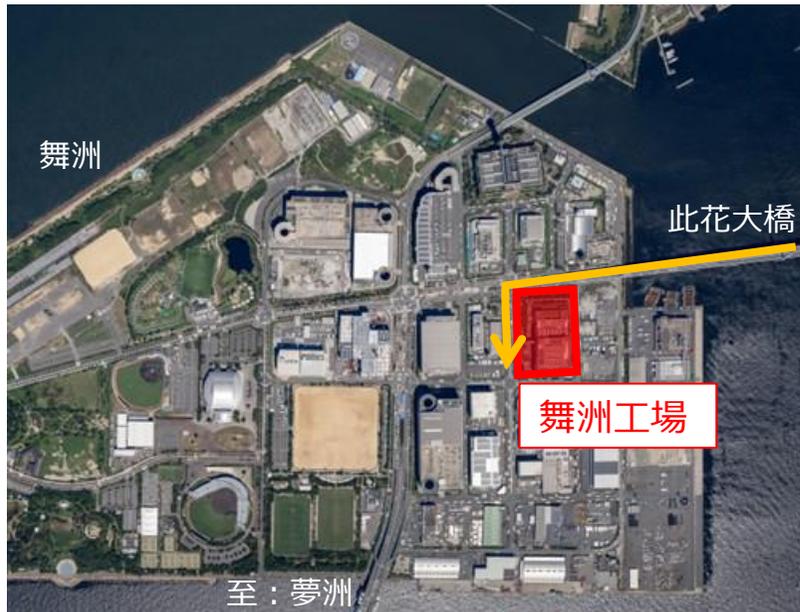
※働きかけTDMとしては、一般車両への対策として、開催中、全期間にわたって、TDMパートナー企業等に対し、夢洲周辺や、阪神高速道路の混雑予測情報等を情報提供。

「舞洲工場のごみ収集車両の抑制」について

◆ 万博会場へのアクセスルート上にある舞洲工場（ごみ焼却工場）について、万博開催期間中のごみ収集車両の搬入を抑制

- ・舞洲工場の点検・修繕を万博閉幕付近の繁忙期に実施
- ・繁忙期以外は、万博来場車両の混雑時間帯（8時・9時・10時台）にごみ収集車両の搬入を他工場に振り分け

●舞洲工場への搬入ルート・台数



通行台数（8時～10時台の台数）

- ・高速湾岸舞洲出口 通行台数：26台/h
- ・一般道 北港通り 通行台数：14台/h

●万博来場者の混雑予測（平日）と対策時期について

※来場者輸送具体方針第4版（TDMの呼びかけの強度と期間より）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 上段：日数 下段：割合
	レベル	●開幕(4/13) GW				お盆 夏休み	●敬老の日 ●秋分の日	
繁忙期								8日 (7%)
通常期								51日 (44%)
閑散期								56日 (49%)
							合計 上段：日数 下段：割合	115日 (100%)

舞洲工場の
車両抑制

【繁忙期以外】

・混雑時間帯（8時・9時・10時台）にごみ収集車両の搬入を他工場に振り分けることにより、**3～4割削減**

【繁忙期】

・舞洲工場の点検・修繕期間を繁忙期に変更（概ね搬入車両をなくす）
・9/24～閉幕まで**全炉停止**

物流交通対策「ターミナルゲート時間延長」

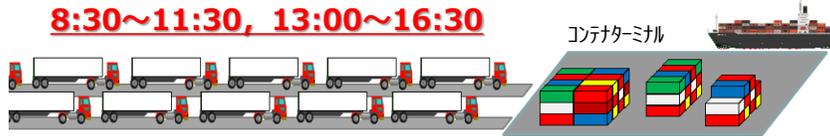
・万博閉幕前の来場者の集中が想定され、かつ、祝日を挟みコンテナ車両の来場増加が想定される**9月16日(火)から10月3日(金)の3週間**において、港湾関係者の協力のもと、早朝及び昼休みにターミナルゲート時間延長を実施予定。

※10月6日(月)から10月11日(土)については、中国の国慶節(大型連休)の影響により貨物量やコンテナ車両台数の減少が想定される時期

【イメージ図】

【ゲートオープン時間】(通常)

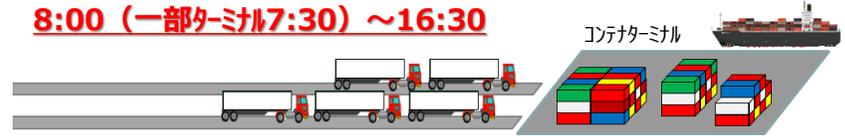
8:30~11:30, 13:00~16:30



・ゲートオープン時間を延長することにより、ゲート前混雑を緩和

【ゲートオープン時間】(対策時)

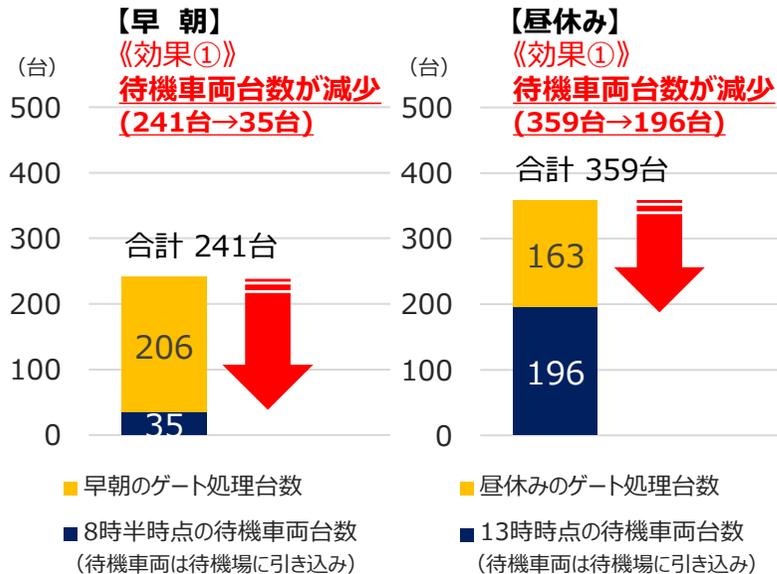
8:00 (一部ターミナル7:30) ~16:30



【実施効果】

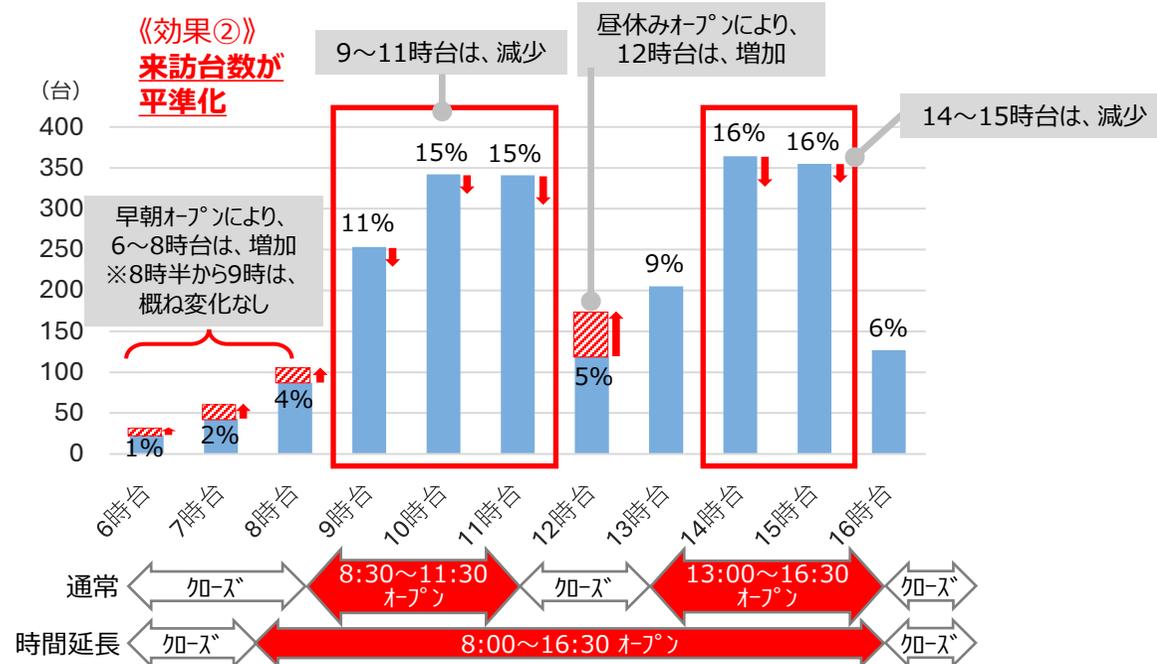
ターミナルゲート処理台数と待機車両台数

(夢洲コンテナターミナル)※R7.5.7~5.8(平均)



時間帯別 コンテナ車両の来訪台数

(夢洲外から夢洲コンテナターミナルへ来場する車両) ※R7.5月の調査結果



万博TDMの取組 ※道路交通に関する取組

8月18日～10月13日（閉幕日）におけるTDM取組の発信

- TDM幹事団体である道路管理者（阪神高速道路等）、鉄道会社（大阪メトロ等）、経済団体が所有する施設や広報誌等へ掲出
- その他、TDMパートナー企業向けメルマガ、YouTube、Google、Yahoo等のWEB広告、大阪市公式LINE・X・インスタのSNSを活用した発信を実施



万博TDM機運醸成に向けた取組

〔大阪ヘルスケアパビリオン催事専用スペースの活用〕

・2025年6月22日～7月22日にかけて計12事業者により実施

- 万博TDMの機運醸成につながるよう、催事スペースを活用し、万博TDMに関する取組をPR

〔万博TDM出前授業〕

- （1回目_対象10事業所）
2025年6月18日～7月30日にて計9事業所実施済、9月下旬に残り1事業所を実施予定
- （2回目_対象10事業所）
2025年9月16日～9月30日にかけて実施予定

- 万博TDMの取組みの理解促進を目的に、大阪府市が出前授業を実施（ミヤクミヤクも登場）

〔大阪ヘルスケアPVステージでのTDM取組発表〕



〔万博TDM出前授業風景〕



〔ミヤクミヤクとの集合写真〕



- 今後、会期終盤の需要増に加え、西ゲート利用促進策（P&R駐車場の利便性向上等）に伴い、道路交通量が増加する可能性があるため、タレントを用いたテレビCM、ポスター等、より訴求性の高い広報を実施
- 大阪市による交通量予測の結果、交通容量を超過する見込みとなった場合には、TDMパートナー企業向けメルマガやホームページにて、混雑時間帯及び混雑区間を回避するための取組実施の更なるお願いを実施

<万博開幕後の取り組み>

- 来場者輸送情報センター（以下、センターという）とは、駐車場の予約台数などの万博交通情報と、交通量の予測データなどの道路交通情報について、日々相互に共有
- 本市職員を毎日センターに派遣し、本市が設置したライブカメラの映像やセンターに集約されるアクセスルートの道路交通情報について相互に共有
- シャトルバスのルートや時間帯、便数の変更などに対応し、情報をアップデート

来場者輸送情報センターでは、万博輸送に関する公共交通等の運行情報等を集約し、交通事業者、関係機関等及び来場者に情報提供

【大阪市との具体的な連携イメージ】

